

ごん吉くんしポート〜南吉よもやま話〜

第28回

悲しみに寄り添う

新美南吉記念館で開催中の「鈴木靖将絵本原画展」命と愛、そして祈り〜にちなみ、日本画家鈴木靖将と彼が描く南吉童話の世界についてご紹介する連載の3回目です。

鈴木靖将が手がけた新樹社の新美南吉童話絵本10冊のうち、最初に出版されたのが「でんでんむしのかなしみ」です。

「でんでんむしのかなしみ」と聞いて、皆さんが思い出されるのは、やはり皇后美智子さまでしょう。平成10年、国際児童図書評議会の大会で講演をされた美智子さまは、子ども時代の読書の思い出を語られる中でこの童話を取りあげ、子どもが本を通して「悲しみに耐える心」を養う大切さを説かれました。

美智子さまが南吉作品を愛好されていることは、以前からよく知られていました。平成22年6月には、天皇陛下と御一緒に

新美南吉記念館へご来館くださっています。

それから9か月後、東日本大震災が起きました。何度も被災地を訪れ、悲しみに打ちひしがれる人々を優しく見舞われる両陛下のお姿に、私たち国民はどれだけ励まされたでしょう。その後、美智子さまは、被災地の子どもたちに本を届ける「3・11絵本プロジェクト」に19冊の本を贈られました。その中には『新美南吉全集』（牧書店）も含まれていたそうです。

新樹社で新美南吉絵本シリーズの企画が持ち上がったのは、ちょうどその頃のことでした。被災地の人々の「ただならぬ悲しみに少しでも寄り添えれば」と考えた靖将は、まず「でんでんむしのかなしみ」からとりくみました。そして、平成24年2月に絵本ができあがると、すぐに震災から1年を迎える福島県南相馬市で絵本の原画展を開きました。



▲展示会場で似顔絵を描く鈴木靖将氏

しかし、まだ震災の傷が癒えない被災地で原画展を訪れようという人は多くありませんでした。そこで、靖将は、色紙に来場者の似顔絵を描いてはプレゼントしました。初めは恥ずかしがっていた人も描きあがった絵を見ると笑顔がこぼれました。やがて、会場には人々の列ができ、結局、一週間の会期に300枚の似顔絵が描かれました。こうして始まった靖将と被災地との交流は今も続き、展覧会も毎年開催されています。



半田市制
80周年記念

半田市福祉文化会館（雁宿ホール）開館30周年記念

第70回 半田市美術展

毎年力作揃いの半田市美術展を開催します。日本画・洋画・彫刻・工芸・書道・写真の6部門に半田市内外から多くの作品が出展されます。

みなさんお誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

■日 時 10月27日(金)～29日(日)

9時～17時(入場は16時30分まで)

※10月29日(日)は9時～16時で、ポスター展示は14時、入場は15時30分までとなります。

■場 所 雁宿ホール



■各種催し(場所:市民ロビーほか)

◇呈茶(半田市文化協会茶華道部)

・日 時 10月29日(日) 10時～16時
・呈茶券 前売300円 当日350円

※前売は雁宿ホール受付にて販売します。

◇箏曲演奏「半田高校箏曲部による演奏」

・日 時 10月29日(日)
①10時30分～ ②13時～

◇体験講座「色紙に想いを込めて…」(書道部門)

・日 時 10月28日(土) 10時～12時

◇書道パフォーマンスin半美(書道部門)

・日 時 10月28日(土) 14時

◇鑑賞者と出品者の交流の場(洋画部門)

・日 時 10月27日(金)・28日(土)
10時30分～12時30分

【問合わせ】生涯学習課 ☎23-7341



植物油・ペンキ使用
再生紙使用
印刷 東海通信印刷株式会社